

**製品名: ネクチン4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14534**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	55kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PVRL4
別名	PVRL4; LNIR; PRR4; Poliovirus receptor-related protein 4; Ig superfamily receptor LNIR; Nectin-4
遺伝子 ID	81607.0
SwissProt ID	Q96NY8
免疫原	抗血清はヒト PVRL4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 312-361

**背景**

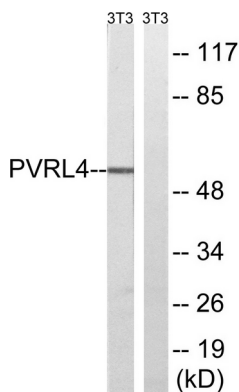
この遺伝子はネクチンファミリーのメンバーをコードします。コードされるタンパク質は、2つの免疫グロブリン様 (Ig 様) C2 型ド

メインと1つのIg様V型ドメインを含みます。トランスホモフィリック相互作用およびヘテロフィリック相互作用を介して細胞接着に関与します。これは1回膜貫通型I型膜タンパク質です。可溶性型は、細胞表面でメタロプロテアーゼ ADAM17/TACEによってタンパク質分解されて産生されます。分泌型は、乳がん細胞株および乳がん患者の両方に認められます。この遺伝子の変異は、常染色体劣性疾患である外胚葉異形成症-合指症症候群1型の原因です。選択的スプライシングによる転写バリエーションが見つっていますが、バリエーションの完全長の性質は決定されていません。[RefSeq 提供、2011年1月]、機能:トランスホモフィリックおよびヘテロフィリック相互作用を介して細胞接着に関与していると思われます。後者には特に PVRL2/ネクチン-1との相互作用が含まれます。アルファヘルペスウイルスが細胞に侵入する際の実受容体としては機能しません。、PTM:可溶性形態は、おそらく ADAM17/TACEによる細胞表面でのタンパク質分解切断(シェディング)によって生成されます。、類似性:ネクチンファミリーに属します。、類似性:1つのIg様V型(免疫グロブリン様)ドメインを含みます。、類似性:2つのIg様C2型(免疫グロブリン様)ドメインを含みます。、細胞内局在:カドヘリンに基づく接着結合においてMLLT4と共局在します。、細胞内局在:分泌型は乳がん患者に見られます。、サブユニット:自己会合します。Ig様V型ドメインを介してPVRL1/ネクチン1 Ig様V型ドメインと相互作用します。C末端を介してMLLT4と相互作用する。、組織特異性:主に胎盤で発現する。正常乳房上皮では検出されないが、乳癌では発現する。、

## 研究分野

接着ジャンクション;

## 画像データ



PVRL4抗体を用いた NIH/3T3細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。